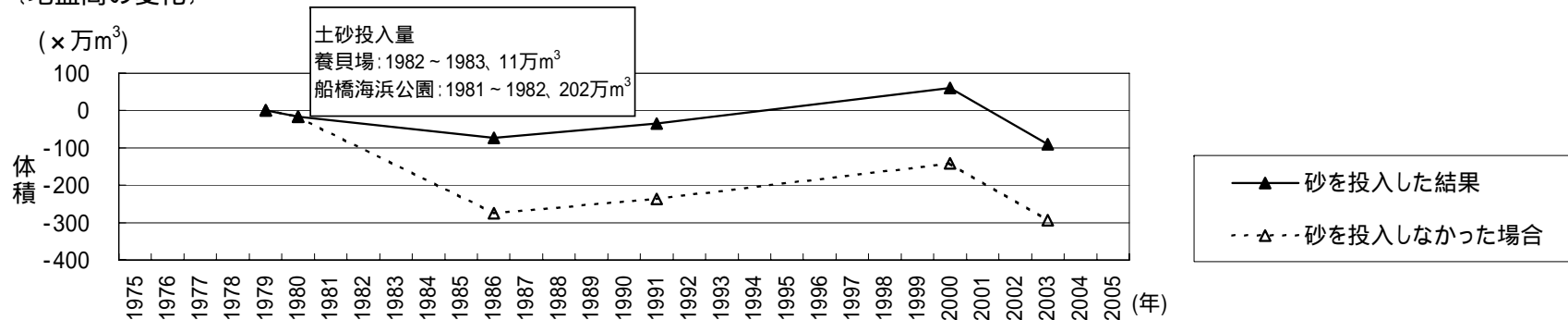


図 - 1.5 波高の経年変化と地盤高およびシルト・粘土分の関係

〔地盤高の変化〕



〔波高・シルト・粘土分等の変化〕

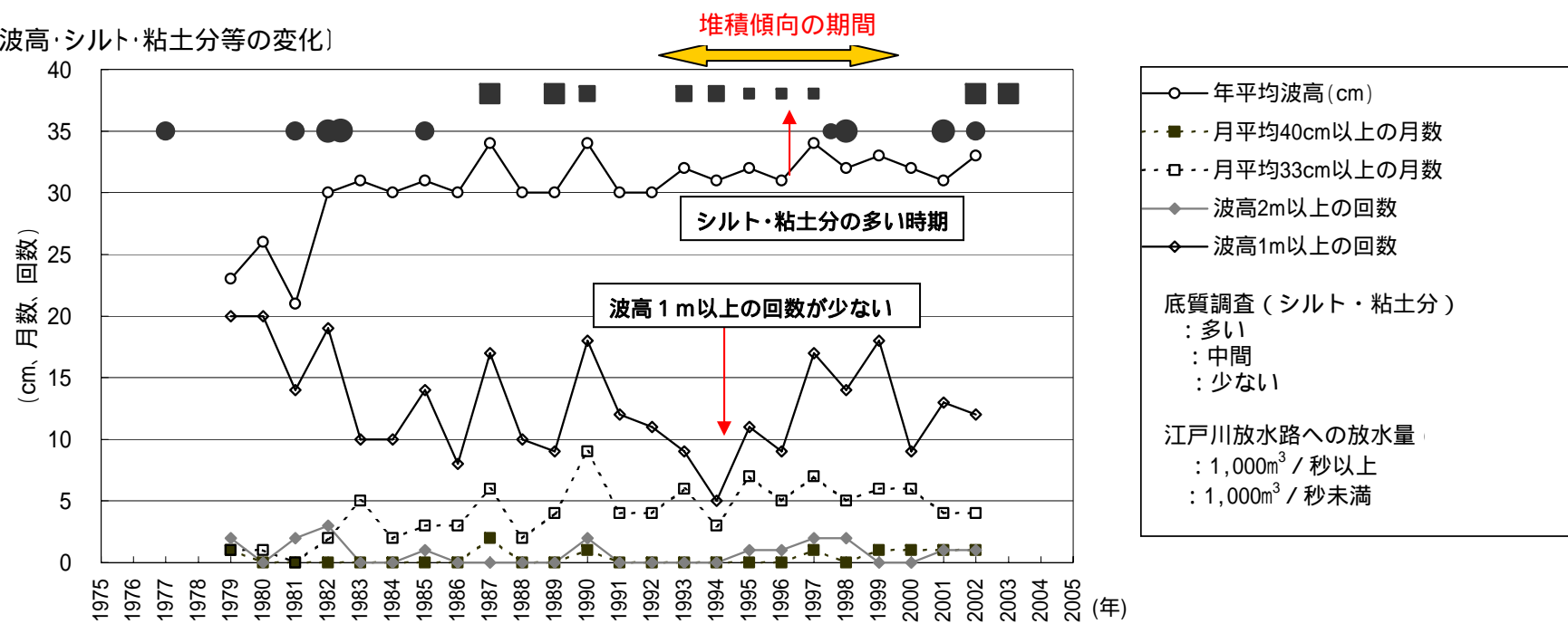
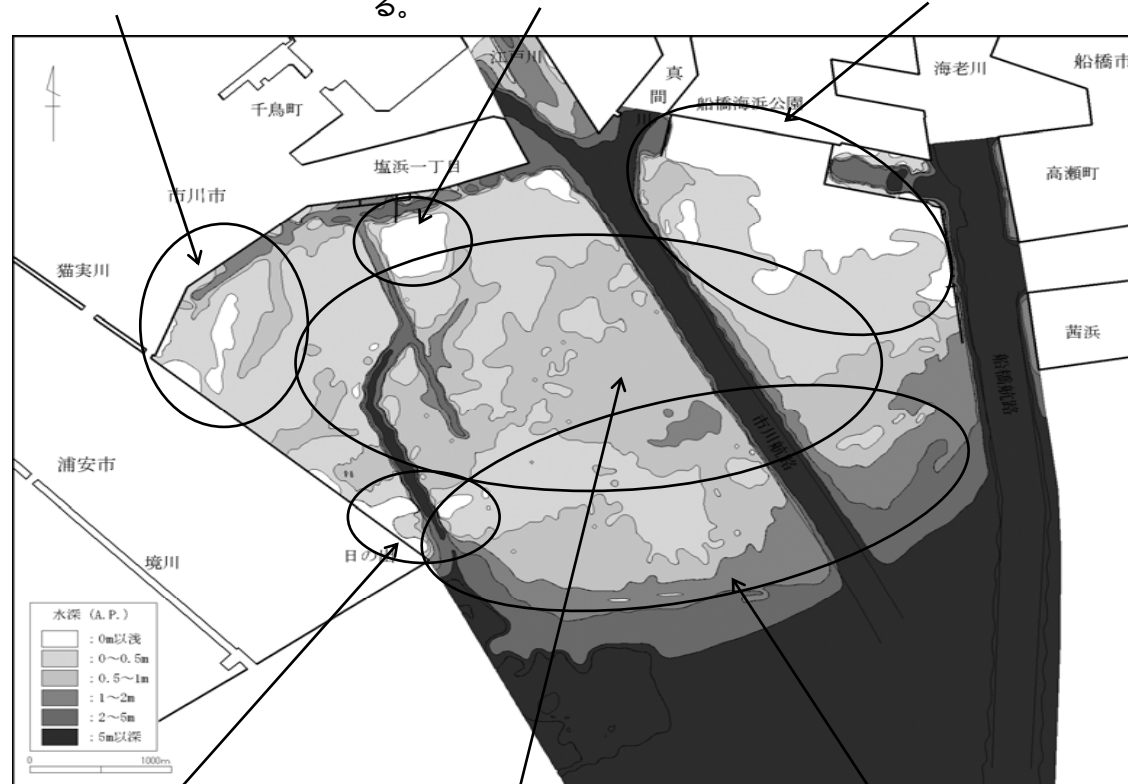


図 - 1 . 6 部分的な地形変化の傾向

猫実川河口域  
昔あった広い干出域が減少。  
最近でも局所的に堆積している。

養貝場  
覆砂後ほぼ安定。  
若干北東に動いている可能性がある。

船橋海浜公園  
覆砂後、砂は前面に広がり、現在は安定。



日の出側干出域  
年を追って東側に砂嘴状に伸びてきている。

浅海域中央  
若干の増減はあるが、全体としては安定。

砂嘴・砂堆  
日の出側からの砂嘴状地形の発達とともに砂堆外側は侵食傾向

図 - 1.7 ( 1 ) 底質の粒度 ( 中央粒径 ) の水平分布 ( 三季平均 )

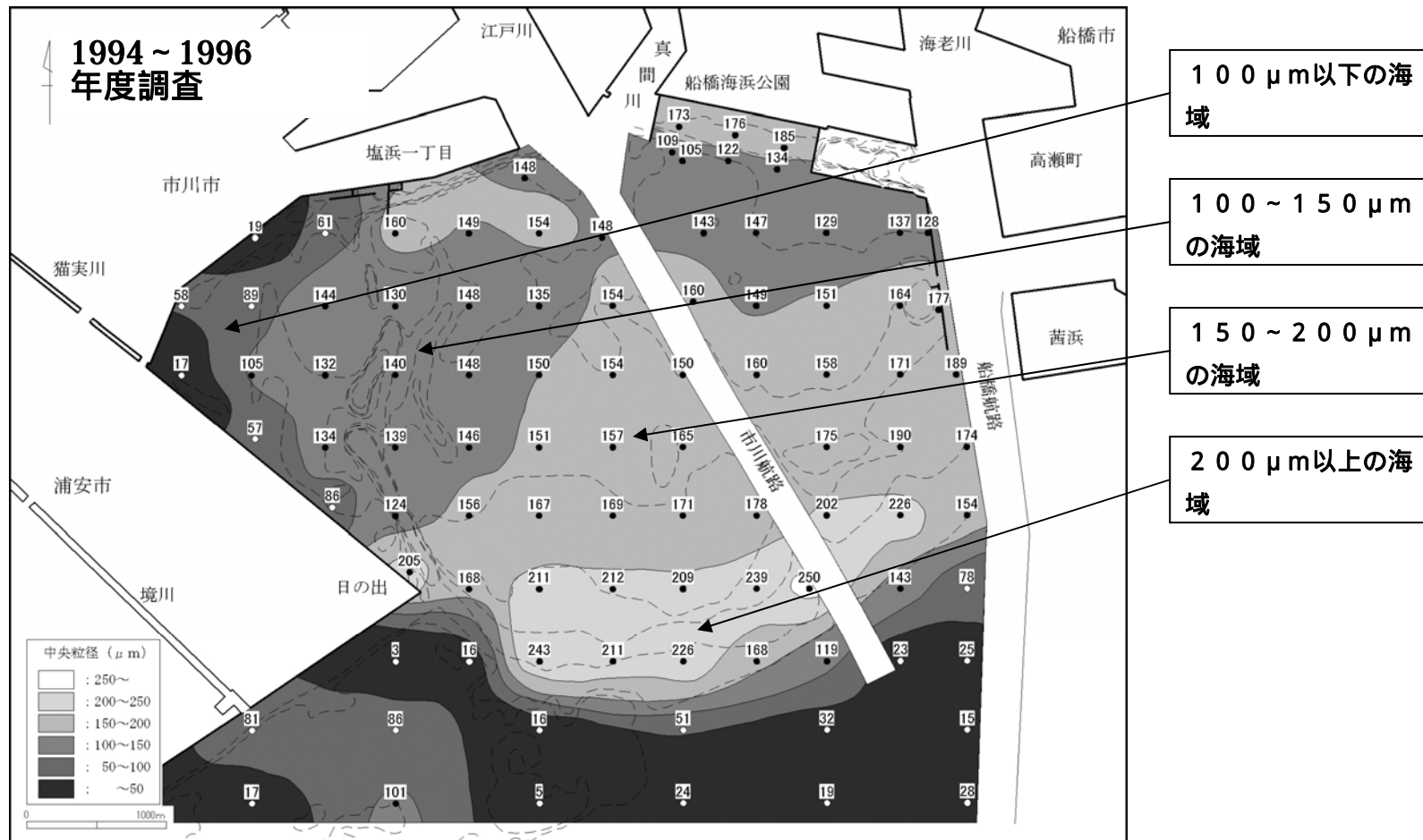


図 - 1.7 ( 2 ) 底質の粒度 ( 中央粒径 ) の水平分布 ( 三季平均 )

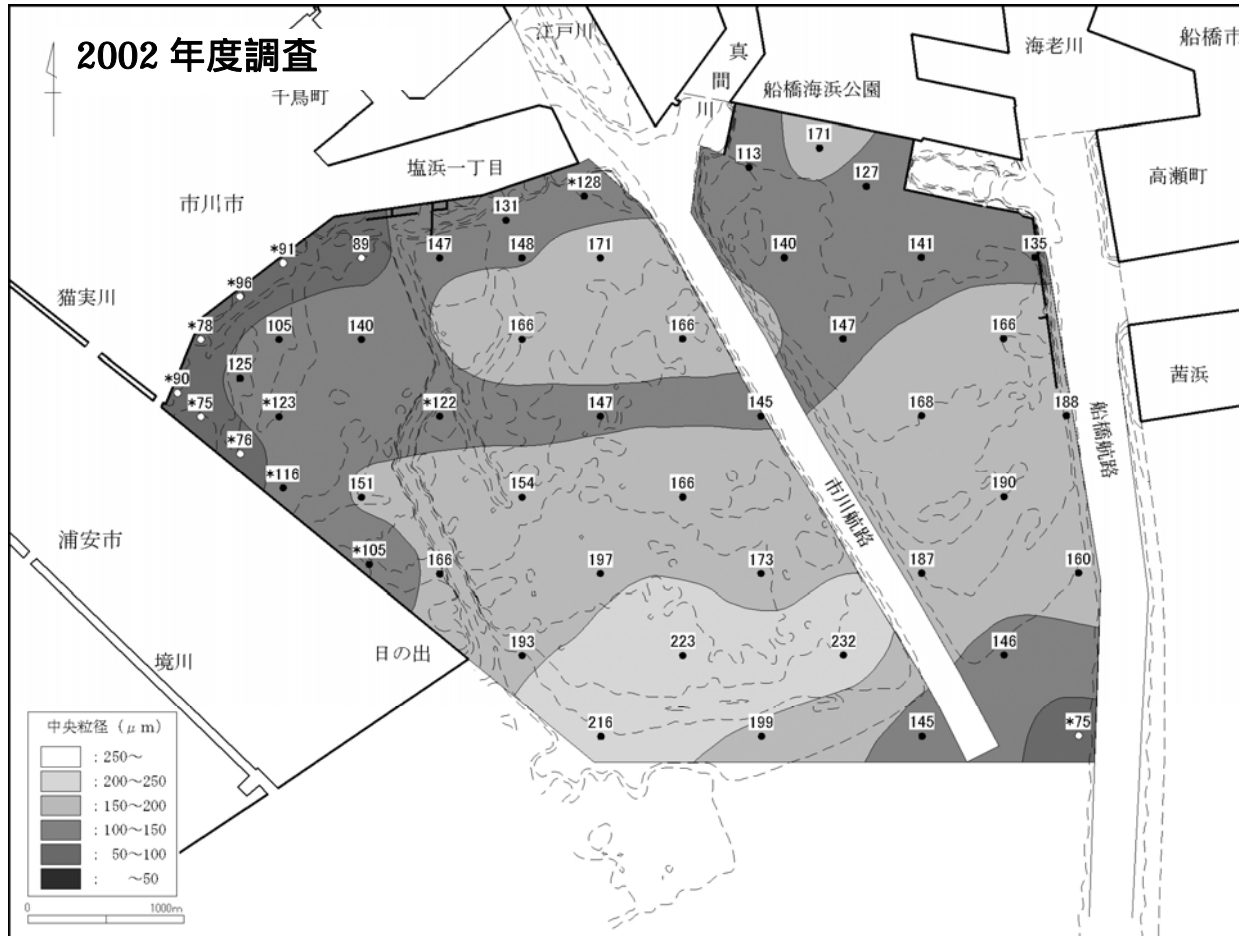
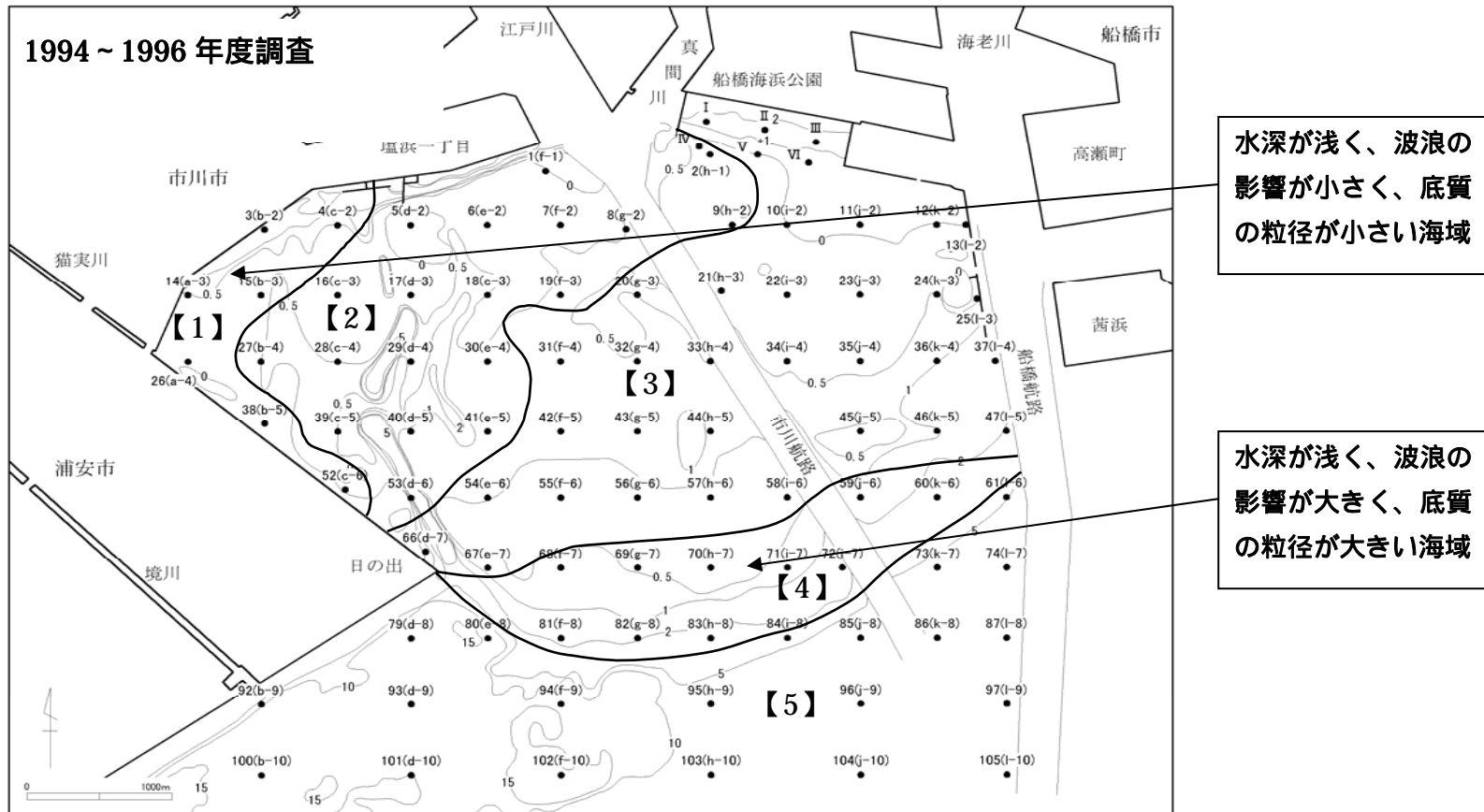
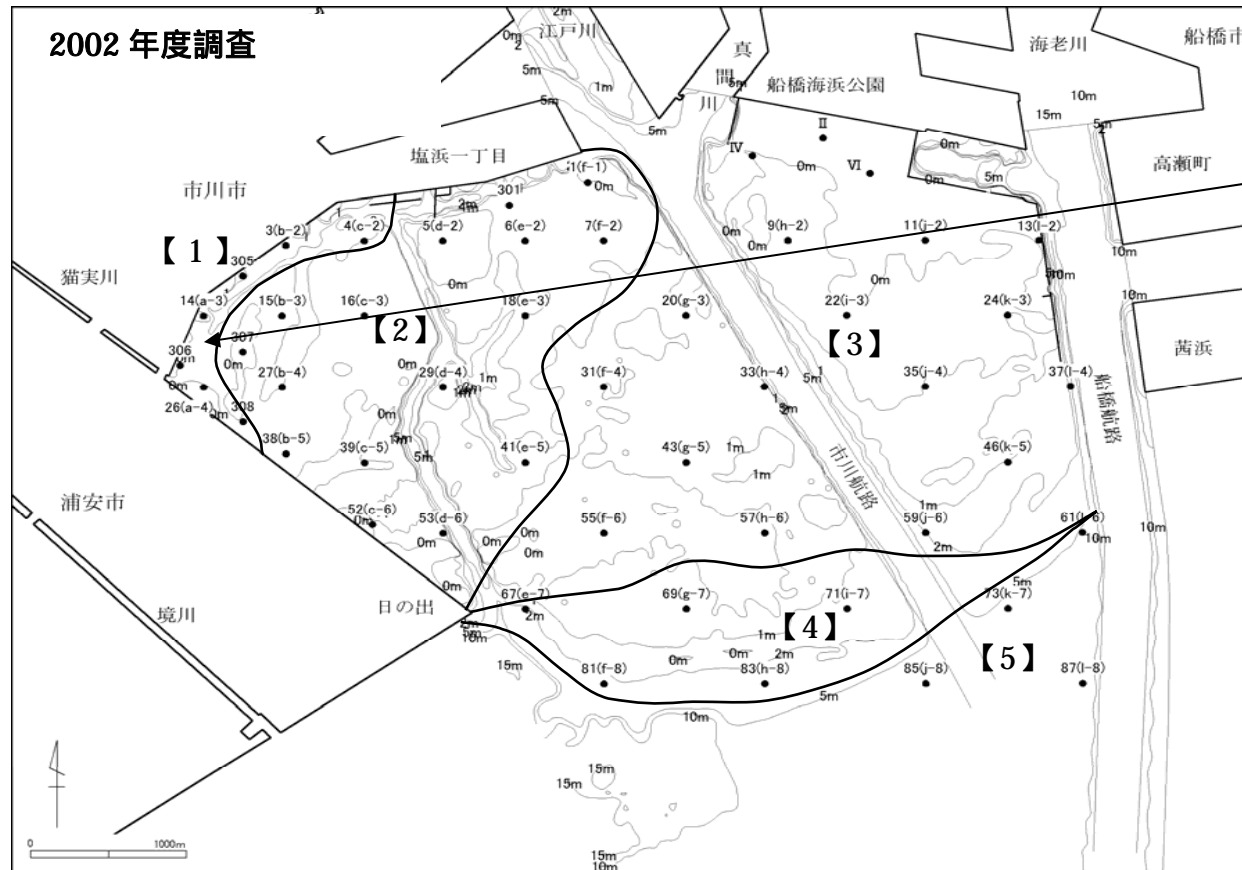


図 - 2.1 ( 1 ) 環境条件からみた海域区分 ( 三季 )



注) 数字は水深 (A. P. [m]) を示す。

図 - 2.1 ( 2 ) 環境条件からみた海域区分 ( 三季 )



補足調査時に比べ、  
面積が減少

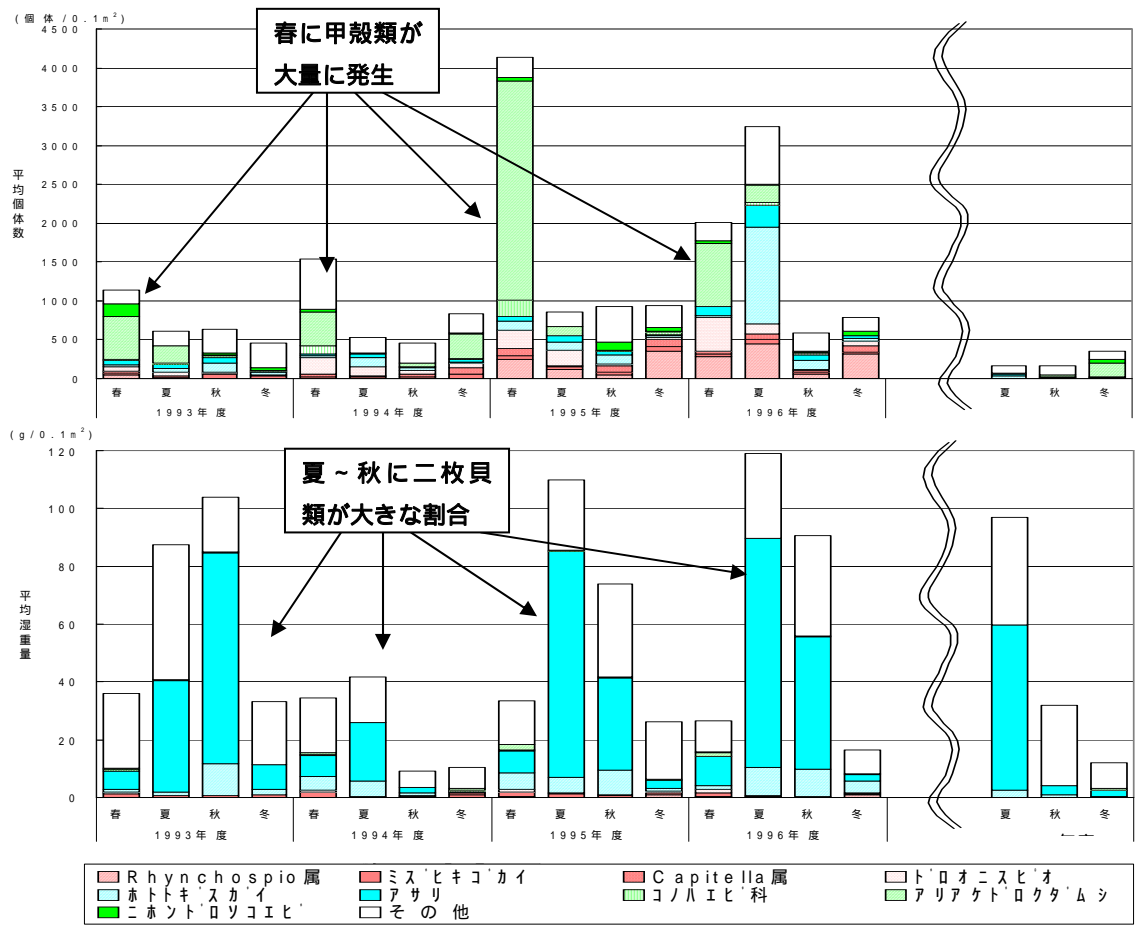
注) 数字は水深(A.P. [m])を示す。

### 3 . 底生生物、魚類、鳥類等

**底生生物** スミスマッキンタイヤ型採泥器による採泥  
種の同定、個体数、湿重量ほか  
( 補足調査 1993 ~ 1996 年度四季実施、87 ~ 93 地点 )  
( 2002 年度調査 春季を除く三季実施、53 地点 )

**魚 類** 押し網による着底稚魚調査 ほか  
種の同定、個体数、湿重量、消化管内容物 ほか  
( 補足調査 1996 ~ 1997 年毎月実施、6 地点 )  
( 2002 年度調査 11 月から毎月実施、16 地点 )

**鳥 類** 定点調査・ラインセンサス法ほか  
種の同定、個体数ほか  
( 1987 ~ 2003 年実施、非調査期間含む、14 ヶ所 )



赤は多毛類、青は二枚貝類、緑は甲殻類を示す。

注) 1993～1996年度、2002年度の調査地点のうち共通している調査地点(39地点)の平均個体数、平均湿重量を示す。

図 - 3.1 底生生物の季節変化(1993～2002年度)



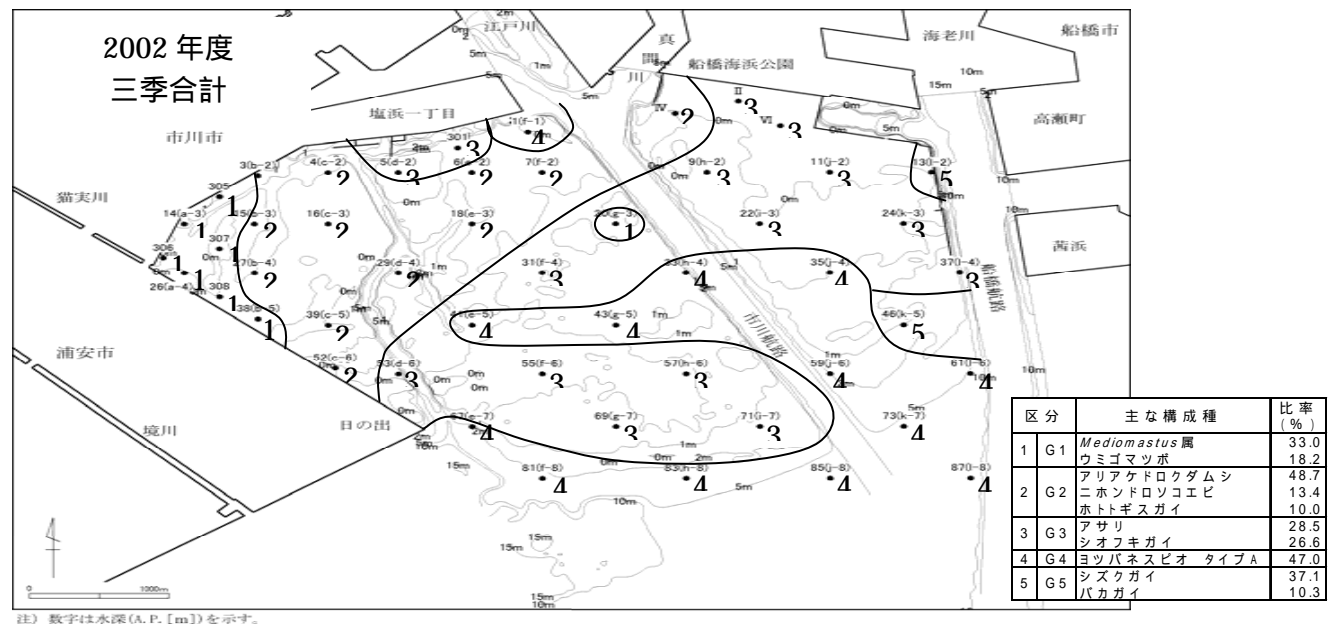
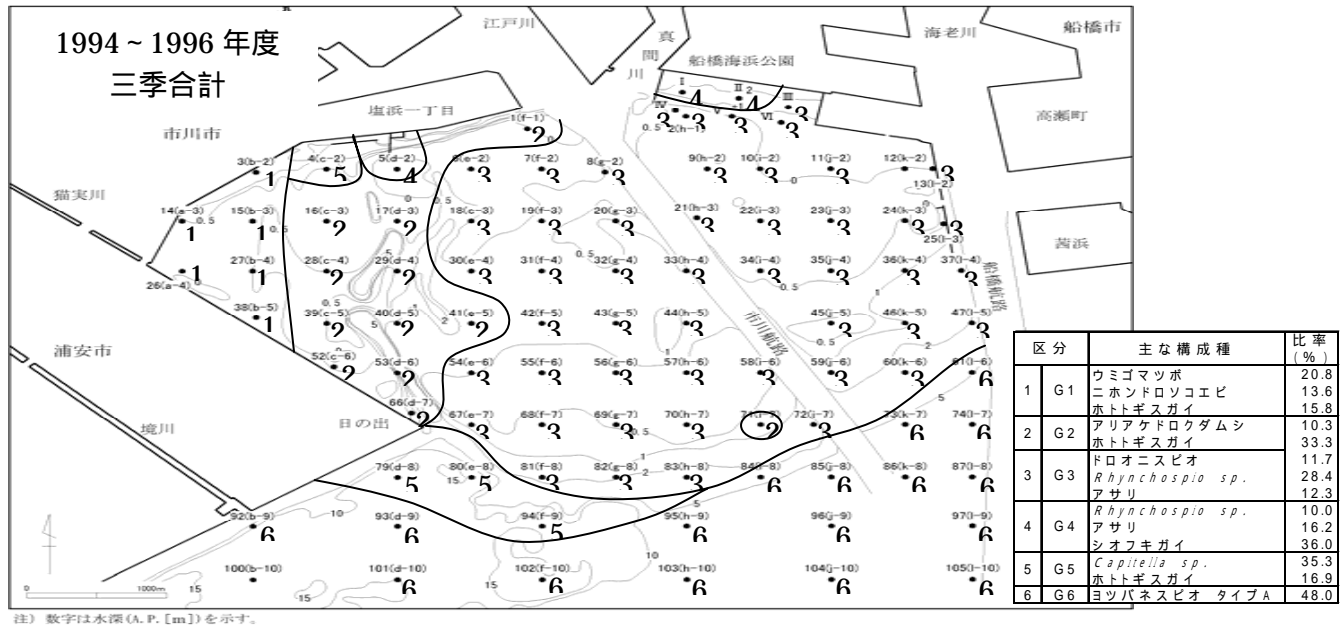
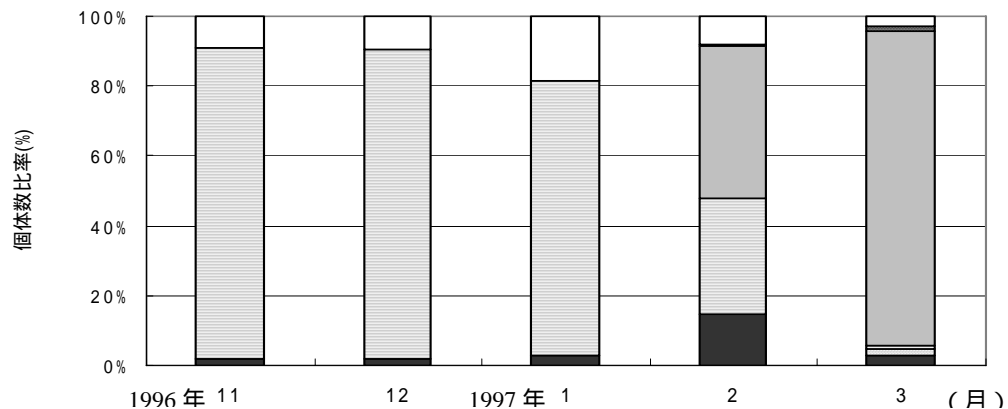


図 - 3.2 底生生物の群集組成の類似度による海域区分(三季合計)

### 1996年度



### 2002年度

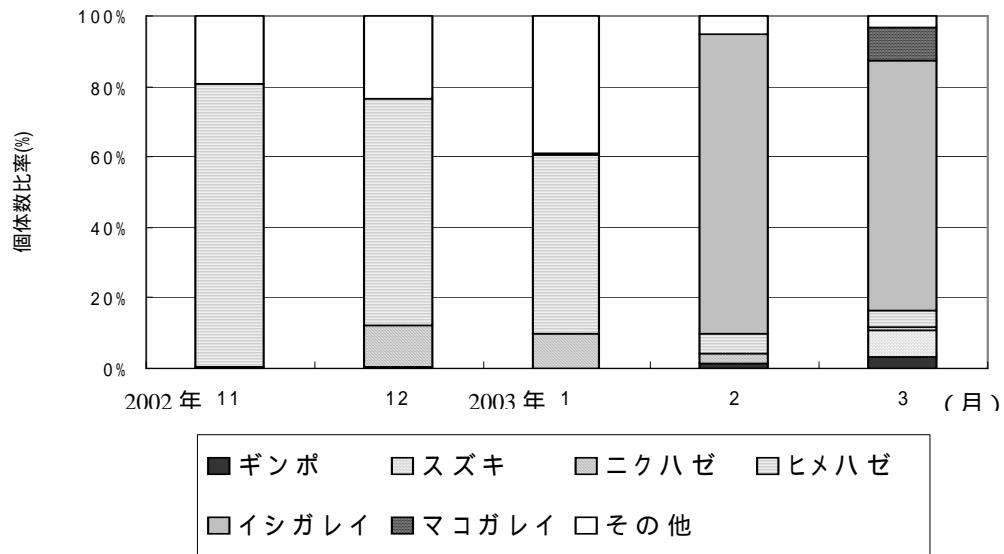
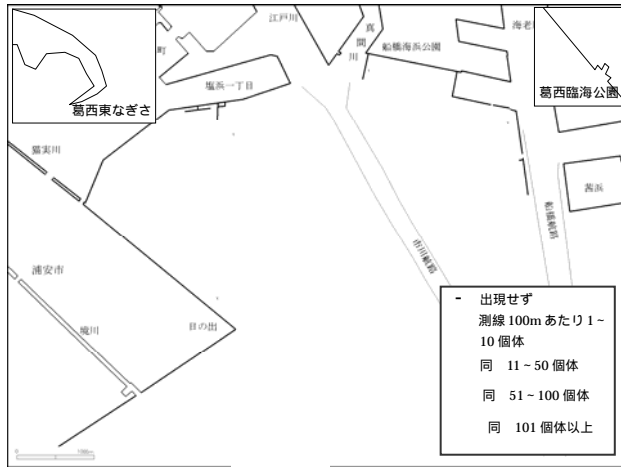


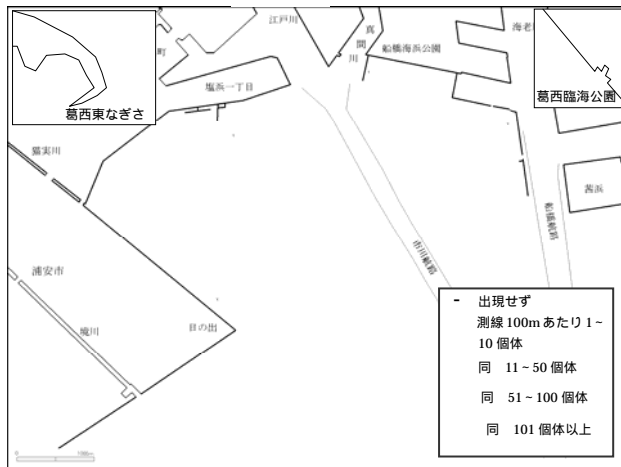
図 - 3.3 魚類個体数組成(1996年度調査、2002年度調査)

# 図 - 3.4 イシガレイ出現状況

1996 年度

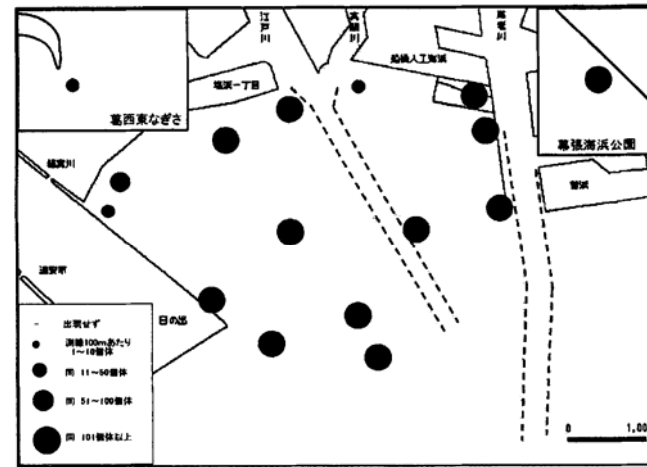


2月

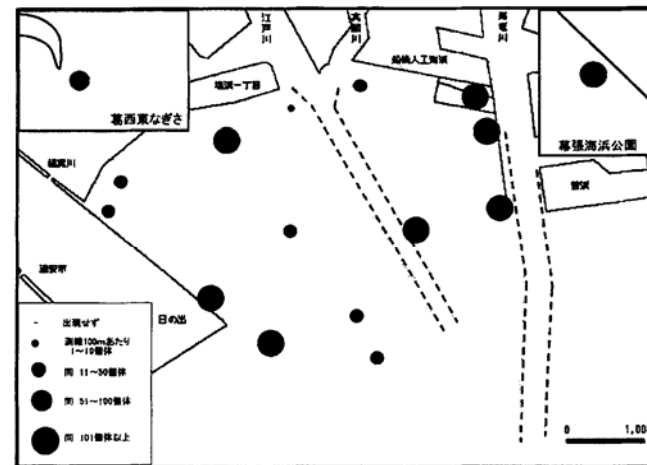


3月

2002 年度



2月



3月